

【別紙2】

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 静岡県 】 学校名 静岡市立清水入江小学校

1 実践テーマ	【 I 】
2 実施対象者	6年児童 140名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習の時間) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	アスリートによる競技の実演や交流活動を通して、オリンピックやパラリンピックへの意識を高めることができる。
5 取組内容	・ウェイトリフティング 山田監督、山本選手、八木選手、松本選手が来校 ・選手の紹介 ・競技の実演 ・6年生児童の体験 ・教室で一緒に給食を食べる ・質疑応答 ・歌とエール    

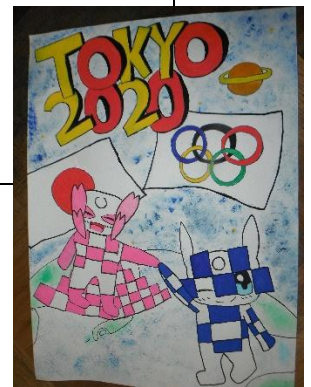
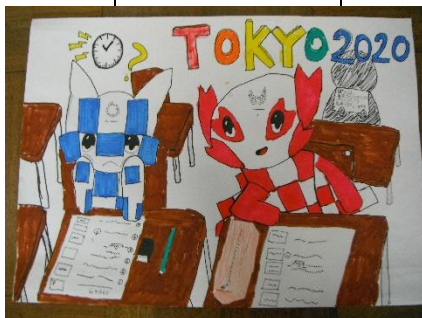


6 主な成果

- オリンピックに出場経験のある選手とふれあうことで、オリンピックへの関心が高まった。『TOKYO2020』をより身近に楽しみに感じられるようになった。
- ウェイトリフティングはもちろん、オリンピック競技への関心が広がった。

7実践において工夫した点 事業の特色

- 給食を一緒に食べる時間があったことで、身近でフレンドリーな交流をすることができた。
- 6年生による横断幕・歌・エールや選手控室の掲示（5年生が図工で取り組んだオリパラポスター）は、関係者に喜んでもらった。



8主な課題等	・オリパラ教育のカリキュラム(どの教科でどのようにつなげていくのが効果的なのか)を考えていかなければならない。 ・当日の流れ(予定)を確認できたのが2日前だったので、少し心配した。 ※担当学年が臨機応変に対応できたので(横断幕作成・エールや歌の練習)、課題という程ではない。
9来年度以降の実施予定	・今年度と同様のオリパラ教育が実施できるとよい。(6年生) ・本校の卒業生であり、パラリンピックアスリートでもあるパラリンピック陸上の春田さんに毎年、4年生の福祉教育のGTとして来ていただいている。来年度も要請する予定。